

意見招請

対象国名：インドネシア共和国

業務名称：インドネシア次世代 AI 人材創造プロジェクト

標記案件につき、企画競争により、業務委託先を選定する予定です。

つきましては、特記仕様書（案）に対するご意見・コメントを募集致します。

特記仕様書（案）は、個別配付しますので、下記 2. 連絡先の事業担当までご連絡願います。特にご意見・コメントいただきたい点は 3. のとおりです。頂いたご意見・コメントにつきましては、個別に回答は致しませんが、企画競争説明書へ適宜反映させていただきます。また、ご意見・コメントにつきまして確認させていただきたい点などある場合には、ご連絡差し上げる場合がございます。

1. 調達内容

- (1) 件名：インドネシア次世代 AI 人材創造プロジェクト
- (2) 契約期間：2026 年 12 月～2028 年 11 月まで（2 年）（予定）
- (3) 調達方法：企画競争

2. 資料配付依頼方法

(1) 依頼先

JICA ガバナンス・平和構築部 STI・DX 室

電子メールアドレス：gpgsd@jica.go.jp

(2) 依頼方法

下記(3)の配付期限内に、上記(1)の電子メールアドレス宛に、依頼をお願いします。

電子メールタイトル「資料配付依頼：インドネシア次世代 AI 人材創造プロジェクト」

(3) 依頼期限

2026 年 8 月 28 日（金）12 時 00 分まで

3. 業務内容説明会の開催

本意見招請の実施にあたり、以下の通り業務内容説明会を開催します。

1. 2026 年 7 月 29 日（水）13 時 30 分-14 時 30 分
2. 開催方法：ハイブリッド形式（JICA 麹町本部内会議室及び Microsoft Teams 会議を用いたオンライン接続）
3. 参加方法：参加希望者は、2026 年 7 月 27 日（月）12 時 00 分までに、下記 6. (1)に記載の電子メールアドレスまで、社名、参加希望者の役職・氏名、参加希望形式（対面又はオンライン）、電子メールアドレスを連絡願います。

4. 本案件概要について

インドネシアにおいては、2025 年に通信デジタル省(KOMDIGI)が国内大学と連携し公共課題解決型の AI 人材育成を実施する AI Talent Factory (AITF) が試行的に実施されました。本案件では、AITF の制度的基盤の整備を行うことにより、同プログラムの持続的かつ効果的な運営に向けた実施体制の確立を図り、AI 人材輩出の拡大を企図するものです。詳細については特記仕様書・案件概要表（案）をご参照ください。

5. 特にご意見・コメントいただきたい点

以下について、本段階で初期的に可能な範囲でご意見・コメントを頂きますと幸いです。頂いたご意見も踏まえ、仕様書・事業計画を検討させて頂きます。

- (1) AITF の「自立的運営モデル」の中核設計について 本案件では、事業終了後（2028 年 12 月以降）に KOMDIGI および参加大学が主体となって AITF を継続・拡大できる運営モデルの確立を目指しています。特に、
①KOMDIGI による予算措置の枠組み（AITF 専用予算項目の恒常化）、
②KOMDIGI 人材育成庁（BPSDN）・デジタルエコシステム開発局・参加大学間の役割分担とガバナンス構造、③大学間ネットワーク（コンソーシアム型／ハブ&スポーク型等）のあり方、について、事業終了後の自立運営に耐えうる制度設計の代替案・実現可能性の観点からご意見・ご提案をいただきたい。
- (2) 実践的ユースケースの継続的な調達パイプラインについて AITF の中核は公共課題解決型の PBL (Project-Based Learning)ですが、質の高いユースケースを継続的に調達・供給する仕組みの設計が持続性の鍵と考えています。①KOMDIGI・他省庁・地方自治体からのユースケース公募

/選定プロセス、②課題オーナー（発注省庁）と学生・大学教員のコミット確保、③ジェンダー・社会包摂の観点を反映するユースケース選定基準、④ユースケースの難易度・成果物レベルの標準化、について、他国での類似事例も踏まえたご提案をいただきたい。

- (3) 産業連携モデルの具体設計についてプログラム修了者の進路形成支援（就業・起業）に向け、日系企業との接続を検討していますが、単なるマッチングではなく、企業側が継続的にコミットするインセンティブ設計が課題と認識しています。①日系企業（在インドネシア日系 IT・製造・金融等）にとって AITF 人材が持つ差別化価値の設定、②連携段階別（ユースケースパートナー→インターン→採用／起業支援）の設計、③連携可能性の高い日系産業分野・企業タイプ、④在インドネシア日系企業だけでは規模不足の場合の本邦企業リモート活用や起業支援（アクセラレーター連携）の可能性、についてご提案をいただきたい。
- (4) GPU 等計算資源の従量型サブスクリプションの調達・提供方式について AITF の実践演習には GPU を含む計算資源が不可欠ですが、①クラウド GPU（Hyperscaler／現地 IDC／日本クラウド）・大学既存リソースの共同利用・民間提供等の提供方式の組み合わせ、②2 年間の事業期間中の想定利用規模と単価水準、③事業終了後の資源確保モデル（KOMDIGI 予算／大学負担／産業界共同利用等）、④インドネシア国内のデータ保護規制（PDP：Personal Data Protection 法）・調達ルール適合性、について、実現可能性のある提供方法・調達スキームをご提案いただきたい。
- (5) 本案件では、AI・データサイエンス分野における日本の大学の知見活用が、AITF の質的向上に資すると考えています。応札にあたっては、必ずしも共同企業体（以下、JV と称す）を組成いただく必要はありませんが、プロポーザルにおいて具体的な連携候補先の日本の大学名（学部・研究室・想定される役割等）を明示した提案を期待しています。意見招請段階では、上記の点に関してこちら側で留意すべき事項がありましたら教えていただきたい。

なお、想定業務人月は以下のとおりです。

（今後変更の可能性があります。）

業務人月：30 人月

6. 意見の提出方法

(1) 提出先

JICA ガバナンス・平和構築部 STI・DX 室（担当：鳴島）

電子メールアドレス：gpgsd@jica.go.jp

(2) 提出方法

様式は問いません。下記(3)の提出期限内に、上記(1)の電子メールアドレス宛に、電子データ（エクセル形式）での提出をお願いします。

電子メールタイトル

「意見提出：インドネシア次世代 AI 人材創造プロジェクト」

(3) 提出期限

2026 年 8 月 6 日（木）18 時 00 分（必着のこと）